

## Ⅱ 第2次花巻市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況

一般廃棄物処理基本計画は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、市町村が定めなければならないこととされております。市では、平成19年2月に「花巻市一般廃棄物（ごみ、し尿）処理基本計画」を策定し、ごみの減量や資源化、し尿、生活排水の適正な処理を推進してきましたが、計画期間の終了及びごみ処理を取り巻く環境の変化を受け、平成28年3月に第2次花巻市一般廃棄物処理基本計画を策定し、循環型社会の実現を目指し取り組んでいます。

### 1. 第2次花巻市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

#### (1) 計画の概要

第2次花巻市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画は、一般廃棄物に関して必要な施策を推進するための総合的かつ中長期的な計画として、循環型社会の実現を目指すことを目的に策定しました。

計画期間	平成28年度から令和7年度（10年間）
目標年度	令和7年度
基本方針	(1) 市民啓発の推進 (2) ごみの減量化と資源化の推進 (3) ごみの適正処理 (4) ごみの最終処分量の削減
数値目標	(1) ごみ総排出量 28,095t (2) 1人1日当たり家庭系ごみ排出量 547g (3) 事業系ごみ総排出量 9,745t (4) リサイクル率（家庭系ごみ） 25%以上とする (5) 最終処分率 現状（平成26年度）の最終処分率12.8%を4.5%に抑える

#### (2) 計画目標に対する実績

##### ア ごみ減量とリサイクル

市では、ごみ減量およびリサイクル推進のため、資源集団回収の実施団体に対し、奨励金の交付を行っているほか、衣類や小型電子機器、廃食用油の回収を通じた資源化にも取り組んでいます。

家庭から出るごみについては、「ごみ分別大辞典」「家庭ごみ収集分別表」「家庭ごみ収集

カレンダー」を全戸に配布し、ごみの適正な分別排出を呼びかけているほか、各地域において出前講座を開催し、生ごみの水切りによるごみ減量についても積極的に啓発を行っています。平成30年度からは、将来を担う子どもたちに対する環境保全意識及びごみの適正処理についての啓発を目的として、小学校の社会科における出前授業を実施しています。

本計画の家庭系ごみの実績について、リサイクル率は目標値を達成していますが、1人1日当たり家庭ごみ総排出量は目標値を達成できませんでした。また、事業系ごみの排出量及びごみ総排出量は、目標値の達成には至らなかったものの、前年度よりも減少しています。

ごみ発生量と資源化の実績（市回収分）

項目 (◇は計画目標として設定している項目)		単位	目標値	平成30年度 (実績)	評価 (※1)
家庭系ごみ	可燃ごみ	t/年	11,507	15,016	
	不燃・粗大・埋立	t/年	1,073	875	
	資源ごみ	t/年	5,770	4,143	
	計	t/年	18,350	20,034	
事業系ごみ	可燃ごみ	t/年	9,141	10,805	
	不燃・粗大・埋立	t/年	381	228	
	資源ごみ	t/年	223	54	
	◇ 計	t/年	9,745	11,087	
ごみ総排出量	可燃ごみ	t/年	20,648	25,821	
	不燃・粗大・埋立	t/年	1,454	1,103	
	資源ごみ	t/年	5,993	4,197	
	◇ 計(※2)	t/年	28,095	31,121	
◇ 1人1日当たり家庭ごみ総排出量		g/人・日	547	575	未達成
◇ リサイクル率(家庭系ごみ)(※3)		%	25.0	28.5	達成
◇ 最終処分率(※4)		%	4.5	5.0	未達成

※1 評価は、計画目標として設定している「◇」が付いた5項目の目標値と実績値を比較して判断しています。

※2 家庭系ごみの「資源ごみ」に集団回収の数値を含んでいます。

※3 リサイクル率(家庭系ごみ) = [家庭から排出された資源ごみの量(びん、ペットボトル、その他プラ、廃食用油、使用済小型電子機器、生ごみ) + 資源集団回収量 + 洗浄灰(岩手中部クリーンセンター) + 清掃センター売却資源 + 乾電池 + 蛍光管] / (家庭から排出されたごみの量 + 資源集団回収量)

※4 最終処分率 = 最終処分場埋立量 / ごみ総排出量 × 100

## イ 最終処分率

最終処分量については、岩手中部クリーンセンターから排出される焼却灰の再資源化が行われているため、施設の稼働前よりは減少していますが、目標値は達成できませんでした。

## 2. 第2次花巻市一般廃棄物（し尿）処理基本計画

### (1) 計画の概要

第2次花巻市一般廃棄物（し尿）処理基本計画は、市民が一層快適な生活環境を享受できる社会及び健全な水環境の形成を目指すとともに、今後の下水道等の水洗化の普及促進や生活排水処理施設の適正な維持管理に努めることを目標として策定しました。

計画期間	平成28年度から令和8年度（11年間）
目標年度	令和8年度
処理目標	(1) 生活排水の処理目標 目標年度の生活排水処理率 87.0% 目標年度の生活排水処理施設整備率 95.0% (2) し尿および浄化槽汚泥の処理目標 目標年度のし尿汲み取り量 11,315 kℓ 目標年度の浄化槽汚泥量 19,096 kℓ

### (2) 処理目標に対する実績

生活排水処理率、生活排水処理施設整備率ともに目標値に向かって推移しています。

市は、目標値達成のため、公共下水道等整備が完了した区域内の市民に対し、公共下水道等への接続を促進するための普及活動を行うとともに、水洗トイレの改造や排水設備の工事を行う個人に対し、水洗化支援制度による補助等を行っています。

#### ア. 水洗化人口の状況

	計画当初 (平成26年度)	平成30年度 (実績)	目標年度 (令和8年度)
<b>生活排水処理率(②/①)</b>	76.0 %	79.9 %	87.0 %
①計画処理区域内人口	99,230 人	95,501 人	88,979 人
②水洗化・生活雑排水処理人口	75,381 人	76,346 人	77,389 人
(1) 公共下水道	52,241 人	54,379 人	53,595 人
(2) 農業集落排水	10,096 人	9,692 人	9,587 人
(3) 浄化槽	12,866 人	12,069 人	14,042 人
(4) コミュニティ・プラント	178 人	206 人	165 人
③水洗化・生活雑排水未処理人口(みなし浄化槽)	551 人	534 人	267 人
④非水洗化人口	23,298 人	18,621 人	11,323 人
<b>生活排水処理施設整備率(⑤/①)</b>	88.0 %	90.2 %	95.0 %
⑤生活排水処理施設整備人口	87,360 人	86,140 人	84,530 人

#### イ. し尿及び浄化槽汚泥の状況

	計画当初 (平成26年度)	平成30年度 (実績)	目標年度 (令和8年度)
し尿汲み取り	23,281 kℓ	19,295 kℓ	11,315 kℓ
浄化槽汚泥	18,803 kℓ	19,589 kℓ	19,096 kℓ